

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)	良くなる	商店街（代表者）	・ますます景気は良くなる。
		一般小売店〔土産〕 （経営者）	・10月の遷宮に向けて、関連行事も増えてにぎやかになる。
		百貨店（販売担当）	・企業業績が上向き、ボーナスに反映されるこの夏には、客のマインドは更に上昇し、景気の回復傾向が顕著になる。さらに、来年の消費税増税前に、耐久消費財への投資が活発になることから、大きく上向き可能性がある。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車購入の際に付けるオプションの単価も高く、活発に売れているため、他社も含めて単価は良くなっている。この傾向が、当面続くのではないかと。
		高級レストラン（スタッフ）	・前年は3月に開催されていた企業関係者による歓送迎会が、今年は多忙を理由に、4月に延期されるケースが発生している。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・周りの雰囲気良くなると期待している。
		一般小売店〔高級精肉〕 （企画担当）	・景気はまだ好転しないが、消費意欲は好転している。
		一般小売店〔酒類〕 （経営者）	・余裕のあるシルバー世代と、消費が活発な若い世代では、飲食店への来店回数が回復している。
		一般小売店〔和菓子〕 （企画担当）	・参議院選挙までは、現在の雰囲気が続く。今後は、実際の政策がどうなるかによって変わってくる。参議院選挙が、大きな分岐点となる。
		百貨店（売場主任）	・当社が発行している会員用冊子を見て、靴の問い合わせをしてくる客があった。また、新聞広告を見て、当店で取扱があるかどうかを問い合わせしてくるなど、靴に興味を持つ客が増えている。来店して実際に購入する客も多い。靴に関しては、売上が増えてきているため、景気は良くなっている。
		百貨店（経理担当）	・消費者心理を左右する要素の1つである株価は、当面、高止まりすると見込んでいる。株高が続く限り、景気は上方局面にとどまる。
		百貨店（販売促進担当）	・消費者マインドの上昇を受けて、来客数、客単価共に、前年同月を大きく上回っている。そのため、当分この状況は継続される。
		百貨店（販売担当）	・ベースアップする会社が増えてきていると聞くので、消費者マインドの上向きも続く。
		スーパー（経営者）	・円安、株高が続く、企業のボーナス支給額も増えて、消費は徐々に増えてくる。また、長く続いたデフレは6月までには徐々に収まり、良い商品や高級品が売れてくるのではないかと。円安効果は当分続き、輸出産業にとっては大きな利益を見込めるため、久しぶりに日本全体に明るさが出てくる。
		スーパー（経営者）	・遷宮を迎えるため、当地は参拝客が増加することに期待している。
		スーパー（店長）	・当店は工業都市にあるため、円安の恩恵が大きい。春闘でも、要求通りの妥結が多い。
		スーパー（総務担当）	・和風惣菜や鮮魚、刺身類では、比較的高単価な商品も売れており、販売数は若干増えている。
		スーパー（営業担当）	・景気浮揚に対する期待感から、消費者マインドは上昇している。
		スーパー（営業企画）	・实体经济はともかく、景気の高揚感は今しばらくは続く。それに引っ張られて、消費支出も若干の増加が期待できる。
		スーパー（商品開発担当）	・明確に伸びている商品分野は今までと変わらないが、同時に全体が良くなっている傾向を確認できる。
スーパー（支店長）	・政権に期待する。		
コンビニ（店長）	・株価や地価の上昇などにより景気回復感はあるが、まだ消費には回ってきていない。これからやや良くなることに期待する。		
コンビニ（企画担当）	・所得が改善すれば、景気には良い影響を及ぼす。		
コンビニ（店長）	・4月の新年度を迎え、新しい学生やビジネスマンが増えてくること、大型連休が近づいてくること、暖かくなること、この3点で来客数は増えてくる。		
衣料品専門店（販売企画担当）	・動きが活発になってきていること自体、良いことである。今後は結果が出てくる。		
住関連専門店（営業担当）	・消費税増税の前に、新築住宅の購入、改修工事の動きがある。分譲住宅・分譲マンションでも資材の値上がりが出ており、早めに購入する動きが出ている。		
その他専門店〔雑貨〕 （店員）	・アベノミクス効果が期待できる。		

その他小売 [ショッピングセンター] (営業担当)	・円安による製造業の業績回復が期待できる。	
一般レストラン (従業員)	・当地の人は雨と寒さが苦手であるため、寒い冬を越せば、足を運んでくれる。	
その他飲食 [仕出し] (経営者)	・今のところ増税の話題は出てきていないため、このままいけば上向く。	
都市型ホテル (営業担当)	・客の様子を見ていると、今後も景気が良くなる方向に向かう。	
都市型ホテル (経理担当)	・1人当たり単価が上昇する。	
旅行代理店 (経営者)	・アベノミクスの効果が少しずつ地方にも出てきているため、今後は上向きになってくる。	
旅行代理店 (経営者)	・政権が安定しているため、夏に向けて景気は多少なりとも良くなる。	
旅行代理店 (経営者)	・4月以降は景気回復でますます好調という客の様子が見受けられる。	
旅行代理店 (経営者)	・アベノミクスは、他業種では良い影響を与えているため、旅行業界もそれに追随して、4月以降は良い方向に向かう。	
旅行代理店 (経営者)	・参議院選挙を控えて、量的緩和の効果が出てくると思われるが、成長戦略が順調に進まない限り、秋には腰折れする。	
旅行代理店 (従業員)	・利幅が大きい見積書でも成約できる団体旅行が増えてきており、業績も好調に上がっている。大きな天変地異でも起きない限り、しばらくは上昇傾向が続く見通しである。企業でも、節目の周年イベントとして旅行を実施するケースが増えており、良い傾向である。	
タクシー運転手	・今年の春闘では、大手企業の回答が非常に良いため、ボーナスの時期には良くなる。	
テーマパーク (職員)	・グリーンシーズンを控えて、少しずつ増えつつある近隣からの観光客に期待できる。	
美顔美容室 (経営者)	・新客フェアの開催によって、新規の来客数が少しは増えるのではないかと。	
住宅販売会社 (従業員)	・消費税増税を控え、現行税率での支払の期限となる9月までの成約に向けて徐々に購買意欲は高まる。ゴールデンウィークは、建築業界にとって、この1年を占う大きな山になる。	
住宅販売会社 (従業員)	・消費税増税前の駆け込みのためか、円安に伴う輸入部材の高騰のためかはわからないが、購入するならば早いうちにとの考えで、客の購買意欲は少しずつ上向いている。	
住宅販売会社 (従業員)	・多少、上向きになる。	
変わらない	商店街 (代表者)	・景気の高揚感はあるが、販売量に動きは見られず、あまり変わらない。
商店街 (代表者)	・来客数の動きから見ても、良くなってきていることはわかるが、小売業はプラスに転じるのが一番遅い業種であるため、良くなるのはもう1、2か月先になる。	
商店街 (代表者)	・客単価は下げ止まっているが、景気が上昇しているという実感はまだない。商店街の人通りは多いが、そのまま来客数にはつなげていない。	
商店街 (代表者)	・株価やマスコミ報道等を見ると、景気は上向いているように見えるが、実体は全然良くなっていない。今後も2、3か月程度では、今とさほど変わらない。今春から様々な物の値上げが見込まれており、家計は更にひっ迫することから、身の回りの景気は良くならない。	
一般小売店 [自然食品] (経営者)	・客と会話していても、大部分の客からは、景気が良くなっている感じは伝わってこない。買物する際に、買い増したり買い足したりする感じが出てくるまでは、それほど変化は出てこない。	
一般小売店 [書店] (経営者)	・新品の商品がよく売れ始めた後に、その商品が中古業界に入ってくる。新品の業界の動きが鈍いなかでは、まだ時間が掛かる。	
一般小売店 [生花] (経営者)	・物価の上昇もあり、そう甘くはない。	
一般小売店 [薬局] (経営者)	・株式市場が活況であるため、景気が良くなることを期待している。しかし、当地域の経済は、一部を除いて非常に暗い。そのため、3か月先に景気が良くなるとは思えない。これから梅雨に向かうが、商売は天候に左右されるのではないかと。	

一般小売店〔食品〕 (経営者)	・円安が進み、ガソリンの他にガス料金や電気料金の値上がりも決まっている。食品関連では、原材料のサラダ油や小麦の価格がまた上がる様子であり、商品を仕上げる際に、値上げするか量を減らすかで対応に困っている。客の値上げの動きも鈍いと聞いているため、この先数か月間の景気は引き続き悪い。
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・当店の主な客層は、地元の中小企業であり、中間層である。客の間ではまだ景気の回復感はなく、様子見の状況である。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
百貨店(売場主任)	・婦人物等の日常商品はあまり変わっていないため、今の好調は一過性であり、夏までこの好調が続くとは感じられない。
百貨店(経理担当)	・回復しつつある品目もあるが、全体的には、景気回復の動きは感じられない。
百貨店(経理担当)	・来客数、売上共に厳しい状態が続いているが、今月開催した宝石・時計等の展示会では、今までよりも良い動きが出ている。今後に期待したい。
百貨店(販売担当)	・客の様子を見ると、購買意欲はやや改善した印象もあるが、高級衣料品を販売しているためか、結果には出ていない。
百貨店(販売担当)	・季節が変わり、購買意欲は感じられる。しかし、値上げなどもあって、状況は簡単には変わらない。
スーパー(店長)	・製造業の景気回復は、食品等の購買回復にはすぐにはつながらない。毎日の食品に対しては節約が常態化しており、回復する兆しは見えない。
スーパー(店長)	・円安によって、今後はガソリン以外でも値上げが検討されている。それに伴い、低価格志向は一層強くなり、一部の商品の単価は下がってくる。それをカバーするほどの買上点数もない。今後も、色々な物の値上がりによって、大きく左右される。
スーパー(店長)	・円安によって、輸入食品やそれを原料とする物の値上がりが予測され、消費者の買い控えと売上の減少が予測される。
スーパー(店員)	・現状を見ると、良くなる要因はない。消費税増税を控えて、必要な物しか買わない状況になっている。
スーパー(店員)	・大豆商品などの値上がりに伴う価格転嫁を実施し始めてから数日が経つが、この影響がどこまで広がるか、少し様子見が必要である。
スーパー(店員)	・このところ、単価は同じように推移しており、良くなる要素がない。
コンビニ(エリア担当)	・売上の前年割れは、当面継続する。
コンビニ(エリア担当)	・単価が伸びていない。経済状況に明るい兆しは見られるが、まだ明確ではないため、様子見しているようである。今後、夏の暑さとボーナスの支給状況次第では、変動がある。
コンビニ(エリア担当)	・悪い状態は、今後も続く。ただし、単価は低下しているが、一部の店では来客数が回復しているため、このままではない。しかし、良くなる要素もないため、今のまま悪くなる。
コンビニ(商品開発担当)	・政権交代後、景気回復への期待や株価上昇などを通じて好転している様子が見られるが、来客数や販売量の増加には至っていない。好転の影響が及ぶのは、まだ先になる。
衣料品専門店(経営者)	・物価の上昇を日常生活で感じ始めると、洋服はよほどの目的がない限り、買い控えられる。
家電量販店(店員)	・映像家電の単価が低下している。高単価商品もあるが、良さを伝えにくい商品ばかりなので、伸び悩む。生活家電は底堅い。
家電量販店(店員)	・映像家電の売行きは、依然として良くない状況が続いている。今後に対する期待も薄い。
家電量販店(店員)	・物価が先行して上がっていくならば、景気は良くならない。
乗用車販売店(経営者)	・景気の高揚感はあるものの、具体的な形で表れてきていない。
乗用車販売店(経営者)	・良くも悪くもならない。
乗用車販売店(従業員)	・よほどのことがない限り、そこそこ維持できる。
乗用車販売店(従業員)	・今は景気回復に対する期待が膨らんでおり、以前と比べて客の雰囲気は違ってきている。しかし、新車の需要が大きく伸びるほどには感じられず、厳しい販売状況はまだ続く。

乗用車販売店（販売担当）	・在庫台数がほとんどないため、登録できない状態が続く。	
乗用車販売店（総務担当）	・景気が良くなりそうな感覚はあるが、実際に給与所得の増加などに結び付かない限り、継続的な消費行動にはつながらない。	
乗用車販売店（経理担当）	・給与が増えて消費に回れば、景気回復も感じられるが、まだそのような状況からはほど遠い。	
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は、前年同月比で1.1%減少している。来客数は、前年同月比で1.5%減少している。	
スナック（経営者）	・アベノミクスの効果は、いつまで続くのか。株高で喜んでいる客が多いなか、財布のひもはどこまで緩むのか。皆が慎重であるため、期待しても実際にはどうなるか、といった感じである。	
スナック（経営者）	・所得に反映されるまでには時間が掛かるため、景気はなかなか良くならない。ただし、ボーナスは増えることが期待され、マインドだけでも上向きになれば、繁華街にはぎわうのではないかと。	
観光型ホテル（経営者）	・アベノミクス、株高や、物が売れ始めたというニュースが流れることは良いことであるが、輸入インフレに伴う原材料価格の上昇分を販売価格に転嫁できるとは限らない。一進一退の状況が続く。景況感は変わらない。	
都市型ホテル（従業員）	・予約数は変わらない。	
都市型ホテル（支配人）	・様子見が続く。宴会需要が増えてくるかどうか、懸念される。	
旅行代理店（従業員）	・大手企業では、ボーナスがほぼ満額で支給されるとのことであるため、その一部が旅行に回ってくる。	
タクシー運転手	・年末以降、少しずつ良くなっている実感が、売上にも表れてきている。客からも、今まで認められなかった経費が少しずつ認められてきていると聞く。景気は上向いていると実感しており、このまま推移していく。	
タクシー運転手	・長い間、同じような状況が続いている。人事異動が前年よりも多いという話題をよく聞くので、良くなることに期待したい。	
タクシー運転手	・まだ、それほど良くならない。	
通信会社（企画担当）	・新築の客が増えており、改善方向にある。ただし、全体的に見ると、良くなるまでにはいかない。	
テーマパーク（経営企画担当）	・日本経済は良くなってきているとの印象はあるが、実感できるほどではない。	
観光名所（案内係）	・物の値上がり、非常に多くなる。その影響が、必ず出てくる。	
ゴルフ場（企画担当）	・2か月先の予約は、前年と比べても好調である。今後2、3か月間はゴルフシーズンに入るため、今の好調は続く。	
美容室（経営者）	・例年ならば3月は寒く、客の出足は悪いが、今年の3月の売上は増加している。このまま4、5月も良くなる。	
設計事務所（経営者）	・案件が少ない状態は、まだ続いている。純粋な設計の仕事ではない設計関連の仕事でも、選ばざるを得ない。	
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・地方が景気回復を実感できるまでには、まだまだ時間が掛かる。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・今は年度末で忙しいが、3か月先はそれほど動く状態にはならない。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	・円安によって生活必需品の価格が上昇しているため、景気は良くならない。
	百貨店（営業企画担当）	・4月には大型ショッピングセンターのオープンが控えており、競争は激化する。また、桜の開花が早まったことで、花見需要の前倒しが考えられるため、来月以降は厳しい状況になる。
	スーパー（経営者）	・小規模小売店や飲食店では、悪い状態がずっと続いている。徐々に悪くなっていく。
	スーパー（販売促進担当）	・例年と同じイベントを開催しても、前年並みの数字は作れていない。目を引く新しい商品企画が必要である。来月は近郊に大型総合スーパーが出店するため、数字の伸びは期待できない。
	コンビニ（エリア担当）	・政府からの呼び掛けに応じて賃上げするなど、当業界の景気は良いと思われているが、実際には過当競争下にある。そのため、新店の売上は非常に厳しく、既存店では将来に対する不安をぬぐえない。
	乗用車販売店（経営者）	・軽自動車は確かに売れているが、4月以降は新型車などの起爆剤も特になく、低調に推移する。

	乗用車販売店（従業員）	・色々な景気対策によって、先々は良くなる印象を持っている。	
	乗用車販売店（従業員）	・例年と同様に、4月からは市場は縮小し、販売台数は大幅に減少する。新型車等の導入も当分なく、厳しい状態になると見込まれる。	
	乗用車販売店（従業員）	・物価が上がると、まず車の維持費を安くしようとする人が多い。そのため、新車に買換えず、車検を受けて乗り続けたり、普段の点検を受けない人も増えてきている。実際に、今まで入庫していた客が、価格を理由に安い店に動き始めている。こうした状況が続くと、しばらくは厳しいのではないかと。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・現時点では、消費は大きく伸びておらず、景気回復の実感はまだない。消費の改善には、まだ時間が掛かる。	
	一般レストラン（経営者）	・政治と円安に対する不安から、支出を控える人が多いように見える。	
	観光型ホテル（販売担当）	・景気は上向きと言われるが、一部の業種に限られたものであり、サービス業にはもう少し後に影響が出てくるのではないかと。ただし、必ずしも良い影響とは限らない。実際、今後3か月間の収入予想は、前年同月比を下回っており、非常に厳しい。	
	通信会社（サービス担当）	・引っ越しのピークは過ぎるため、販売量はそれほど伸びない。	
	通信会社（営業担当）	・電気・ガスなど生活関連の値上げがあるため、今後の生活には不安定な要素が多く、景気は簡単には回復しない。	
	通信会社（営業担当）	・全体的には、販売量も減少傾向である。	
	テーマパーク（職員）	・周囲の土産物屋や観光施設の様子を見ると、やや悪くなる。	
	パチンコ店（経営者）	・業界全体の低価格化が進んでいるため、今後はやや悪くなる。	
	理美容室（経営者）	・客との会話では、株価は上昇しているが給与は増えておらず、生活は良くなっていないと聞く。	
	美容室（経営者）	・3か月後はイベントも少ないため、レジャーや美容院を控える人が多い。	
	美容室（経営者）	・景気が良くなるまでには、まだまだ時間が掛かる。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・大手の福祉用具貸与業者が、新商品の導入に際して、価格攻勢を仕掛けてきている。価格の下落が懸念される。	
	住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の問題がネックとなり、やや悪くなる。	
	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・年度末需要が終わったが、見積依頼などの引き合いはほとんどない。	
	悪くなる	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新規大型店のオープンが目前であり、客は当面の間そちらに流れる。販売量、売上など、すべて悪くなる。
		理容室（経営者）	・マスコミは景気が良いことを言うが、まだ良くなるとは思えない。
企業動向関連 (東海)	良くなる	—	—
	やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・株高は、企業収益を押し上げる効果がある。これまでの減損によって苦しんできた反動から、今後は一挙に上昇気運が高まる。しかし、円安は今後、原材料や動燃費の高騰につながる可能性があり、今後も注視していく必要がある。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・3月の景気は予想よりも悪いが、今後の景気は、円安や原材料値上げ等の要因があっても、良くなる方向に向かう。
		化学工業（企画担当）	・政権に対する期待から、円安、株高が進む。また、米国の景気も堅調に推移していくことが予測される。欧州の債務危機も、危険水域を脱したと見受けられる。懸念材料としてはキプロスショックがあるが、影響は少ないと予測される。
		化学工業（人事担当）	・一部の企業では、賃上げが実施される。賞与水準も少し改善するため、その影響も出てくる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・企業の開発や試作案件等の予算は、更に増加している。そのため、今後は良くなる。
		電気機械器具製造業	・全体的な雰囲気もあるが、情報インフラ構築のための政府予算が投入される動きがあるため、やや良くなる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・欧州や中国などで不安要素はあるが、国内政治は安定しているし、今後も円安、株高基調が続けば、国内消費や輸出企業の業績改善も期待できる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産計画は、しばらく上向き傾向が続く。
		輸送用機械器具製造業（総経理担当）	・円安がこのまま続き、90円台で定着すると、輸出は堅調に推移する。
		建設業（経営者）	・アベノミクス効果が、着実に出ている、ただし、キプロス問題など懸念事項もある。
		輸送業（経営者）	・円安で輸入物量は伸びていないが、内需拡大に応じた荷動きの活性化が期待できる。

	輸送業（エリア担当）	・株高、円安が進めば、輸出企業が活気付く。
	輸送業（エリア担当）	・トレーラー等の車両の搬送が、非常に多くなっている。それと共に、他の荷動きも少しずつ良くなってきている。
	輸送業（エリア担当）	・通販による荷物量の増加により、到着量は今後も一層増加すると予想し、計画している。
	通信会社（法人営業担当）	・政府と日銀が一体となって、インフレターゲットの2%目標に向けて、あらゆる政策を実施しようという意気込みが見える。大手自動車メーカーも、売上目標を上げている。また、景気指標も景気の上向きを示している。地価も下げ止まり傾向にある。
	金融業（法人営業担当）	・原油や原材料のコスト増などを意識する取引先の製造業が多いものの、先行きの受注量、販売量の増加に期待する意見が多い。
	不動産業（開発担当）	・しばらくは、現状の動きが継続すると見込まれる。
	行政書士	・貨物の動きが出てきそうである。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・当面は、各企業の投資が続く。
	その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・問い合わせや見積が増えてきたため、多少良くなるのではないかと。
変わらない	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・継続的に伸びる新規品は少ない。新規品が増加しても、価格競争が厳しいため、利益はあまり望めない。全体的に、製品価格は下がる傾向にある。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度初めの一般消費が不調であるため、夏場に向けての期待も薄い。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・自動車関連の取引先は堅調であるが、電子部品関連が全く不透明であり、回復する兆しは見えない。
	金属製品製造業（従業員）	・金属材料の値上げは待たないで、利益の圧迫につながる懸念が強い。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・円安で価格競争力は回復しているが、欧州の債務危機もあり、海外ユーザーは新規設備投資に慎重である様子が見える。購入意欲はあり、引き合い件数も多いが、実際に発注する段階になると、待ったが掛かるケースが増えている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・為替相場の先行きが不透明である。
	建設業（営業担当）	・検査・清掃等の産業では、相互の連帯が鍵になってくるため、一年を通しての景気の変化を確かめる必要がある。
	輸送業（従業員）	・政府が期待している物価高は、消費者は歓迎していない。しかし、消費税増税が決まっており、高額品を中心に駆け込み需要があるのではないかと。
	輸送業（エリア担当）	・サラリーマンにとって一番の息抜きの場である居酒屋での会合数が減っており、人々は外出せず消費していない。このような動きを見る限り、財布のひもはまだ固く、景気が上向くのはまだ先である。
	金融業（従業員）	・自動車関連事業の中でも、部署や製品によって、繁閑に差があり、良くなることも悪くなることもいえない。
	金融業（企画担当）	・円安の動きが一般化しており、現状は調整局面にある。一層の円安、株高が見られない限り、景気は本格的に良くなっていかない。
	不動産業（管理担当）	・欧州の債務危機が再燃しているため、先行きは明るくない。もう少し様子を見たい。
	広告代理店（制作担当）	・新年度の広告予算を増やさない企業が多々ある様子であり、まだ先が読めない。景気の回復もあまり期待できない。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・どの新聞も購読しないという家庭が、徐々に増えてきている。賃貸住宅での購読率の低下が目立つ。
	公認会計士	・アベノミクスの中期的効果が不明である。円安によって原材料等の値上がりは見られるが、中小企業の従業員の給与の上昇は期待できない。
	経営コンサルタント	・富裕層を中心とする町では、景気は上向きである。しかし、庶民が多く住む地域では、アベノミクスの効果はまだ及んでいない。当面は横ばいである。
	会計事務所（職員）	・中小企業では、今までのマイナスの埋め合わせが急務であるが、短期間ではなかなか実現できそうにない。少なくとも1、2年の期間を要するため、従業員には景気回復の実感が出てこない。
会計事務所（社会保険労務士）	・年度末で一時的に仕事が集中するかもしれないが、例年のことである。また、例年ピークを過ぎると、反動がある。建設関係では、消費税増税前に着工する動きが一部に見られるが、これも継続するとは言い難い。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・円安によって一時的に利益が出て、仕事が発生しなければ経済は良くならない。新製品を世に問うしかなく、新製品の開発が一層求められている。少し経つと、円高になっていく。	

	やや悪くなる	印刷業（営業担当）	・今のところ景気が良くなる材料はなく、このまま悪くなる。
		窯業・土石製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工件数が減少している。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少している。景気拡大の期待感だけが先行している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・円安に伴う受注は考えられるが、素材等の高騰や現在の受注価格を考えた場合、決して良くならない。
		不動産業（経営者）	・中小企業金融円滑化法の終了後に、中小企業の不良債権が直ちに健全化するとは考えにくい。不動産等を安値で早期売買することにより、案件が増加しても、実体経済は低迷しそうである。
	悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・大手企業は景気回復への期待も含めて良くなっているが、中小零細企業の仕事量はまだ増えていない。それどころか、現状では目先の受注も見積も少なく、全体量は減少している。中小零細企業への直接的な受発注は、現在も2、3か月先も全く見えていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・当業界では、取引先が2、3か月後に設備投資を増やすとは思えない。
雇用 関連 (東海)	良くなる	人材派遣会社（社員）	・正社員採用の求人案件が増加傾向にあり、企業の採用意欲は高まっている。
		人材派遣会社（営業担当）	・円安が継続することによって、輸出産業の業績に弾みがつく。株価も上昇していくことで、消費者心理にも影響し、消費は上向いてくる。
		人材派遣会社（営業担当）	・アベノミクス効果は、まだ継続する。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は落ち着いており、求人は増加傾向が続いている。
	やや良くなる	人材派遣会社（経営企画）	・新年度に入り、新規予算によって、取引先の開発活動が活発化すると期待される。
		人材派遣会社（営業担当）	・まだまだ時間は掛かると思うが、政府の経済政策に期待している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・円安効果で、自動車の輸出も増加に転じる。
		職業安定所（職員）	・前年同月比でみると、全産業で、求人数は平均的に増えている。製造業の求人は伸び悩んでいるが、景気はやや良くなってくる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・受講生の語学資格、検定スキルを生かしての就職は、前年よりも芳しくない。しかし、業種に固執しなければ、採用されている。雇用全体の裾野は、広がってきている印象である。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・求人を出しているが、求職者は熱心ではないことがうかがえる。当社は年齢の高い層が多いが、取引先からは嫌われてしまうため、採用を断ることもある。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・4月以降の動きは、まだ鈍い。
		職業安定所（職員）	・太陽光発電などのエコロジー関連と、付随する各種工事では、人手不足になっている。アプリケーション・プログラム開発を除く設計開発エンジニアでは、業務が減少している。また、休業を検討している企業もあるなど、業種・産業によってばらつきがある。
		職業安定所（職員）	・円安などの政策効果が、地元の中小企業には反映されていない。インフレを志向する政策のデメリットを危惧する声も多く、景気は変わらないかやや悪くなる。
		職業安定所（次長）	・管内では、電気機器製造業関係の新たなリストラ情報は無いが、近隣地域での大手企業の動向の影響を受ける可能性はある。今後の景気については、窓口を見ている限りどちらともいえない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・経済紙面を見ると、採用者数が増えるのではないかとの期待が持たれる。しかし、企業はあくまで、厳選した即戦力採用の傾向が強いため、全体的に雇用情勢が改善するとは思えない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・金融業界では、派遣活用を縮小する方針である。
		人材派遣会社（社員）	・予約状況は、例年と比べてもあまり良くない。歓迎会の直前予約に期待したい。
	悪くなる	—	—